

平成29年度 事業報告

〈平成29年度西区社会福祉協議会の取組〉

平成29年度は、改正社会福祉法の施行年となり、ガバナンスの強化、財政面の健全化及び地域における公益的な取り組みを踏まえて法人運営を進めました。また、会員拡充を積極的に行い社協のネットワークを広げ、その機能を強化することで本会の様々な業務とリンクしながら地域福祉活動の支援を一層厚くし、地域共生社会の実現に向けた積極的な対応を基本的な方向とし、「地域における支え合いの仕組みづくりの支援」「指定管理者としての業務推進」「改正社会福祉法への対応」「災害ボランティアセンター運営の強化」を重点項目として取り組みました。

そうした中、社会福祉充実計画の作成、推進を中心に社会福祉法人としての運営の適正化に努めるとともに、平成29年度からあらためて指定管理者を受託したことにより、福祉保健活動拠点の利便性の向上を進めました。また、地域における支え合いの仕組みづくりを支援するため、生活支援コーディネーターの行動を数値化し、取組を報告書にまとめることで可視化しました。

さらに、ボランティアセンターを中心に各種講座を実施し地域活動者の拡大を図る他、災害ボランティアセンターでは各防災拠点とのつながりづくりに取り組むなど、ネットワークを構築しました。

第3期にこまちプランが2年を経過し、計画の進捗を管理し効果測定に向けて区役所、地域ケアプラザとの連携を進める取組を行いました。

I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援（重点項目）

1 生活支援体制整備事業の推進

第1層生活支援コーディネーターをはじめ区社協全体で、地域ケアプラザや区役所とも連携し、高齢者の生活支援・介護予防・社会参加を中心とした支え合いの地域づくりを推進しました。

(1) 生活支援コーディネーターによる高齢者の生活支援・介護予防の充実のための基盤整備

生活支援体制整備事業を推進するにあたり、地域ケアプラザ、区役所、区役所との協働により、以下の会議の運営に携わりました。また、地域ケアプラザにおいて全職種で連携し事業推進するため、地域ケアプラザ版推進会議を開催協力しました。

- ① 区レベル推進会議の開催 12回
- ② 地域ケアプラザレベル推進会議への参加 7回(宮崎地域ケアプラザ 6回、浅間台地域ケアプラザ 1回)
- ③ 市レベル推進会議への出席 12回
- ④ 第一層コーディネーター連絡会への出席 12回

(2) 協議体・住民ネットワークづくりの実施

① 地区別の協議体等の実施に向けた支援

全地区において地区別協議体開催に向けた調整や、内容、資料への支援を行い、会議へ出席しました。

② 第1層協議体(生活支援体制整備事業検討会)の開催 3回

社会福祉施設、介護保険事業者を中心とした協議体を開催し、専門職から見える課題の共有や地域活動・サービスの活用について検討を行いました。

③ 「サロン・居場所勉強会」の実施

区内でニーズの高まっているサロンや居場所について、他区の事例から学ぶと共に、活動団体のネットワークづくりのため開催しました。

月日：7月28日(金) 参加者 16名

(3) 社会資源の拡充・開発に向けた取り組み

① ケアマネジャー向けアンケート調査の実施

本事業に対するケアマネジャーの意識調査および個別ケースのニーズ把握のためのアンケートを西区ケアマネ研究会と共催で実施しました。アンケート結果は推進会議等で報告し、ケアプラザでの活動につなげました。

○アンケート対象者:90名 回答者:44名(回答率48.88%)

② 社会福祉施設向けアンケートと、訪問ヒアリングの実施

社会福祉施設と地域との連携についてアンケートを実施しました。また、地域ケアプラザと区役所と共に、区内5施設に訪問し、新たな活動・サービスの開発に取り組みました。

○アンケート対象施設:99施設 回答施設:22施設(回答率22.22%)

③ ケアマネジャー、ホームヘルパーへの研修会実施

地域ケアプラザの生活支援コーディネーターと共に、本事業の理解と西区での取組をPRするため、研修会を行いました。

にしっこ会研修会 : 9月28日(木) 参加者:16名

ケアマネサロン交流会: 3月26日(月) 参加者:19名

④ 区内郵便局長向け勉強会の実施

地域に密着した郵便局に生活支援体制整備事業の理解と西区の取組をPRするため、地域ケアプラザ生活支援コーディネーターと共に勉強会を行いました。

(4) 広報・啓発

① 地域住民向け「高齢者の孤立から考える」(10/6)について、区役所と協力実施し、第二部において生活支援コーディネーターから事業報告を行いました。

② 広報よこはま西区版2月号へ本事業の掲載しPRを行いました。

③ 「にこまちフォーラム」にて事業の取組をまとめたパネルを展示しました。

(5) スキルアップのための研修・多職種との勉強会

① 7月28日 サロン・居場所勉強会

② 1月11日 西区生活支援課との勉強会

③ 1月26日 西区シニアクラブとの勉強会

④ 3月1日 地域支援のあり方を考える勉強会

(6) 西区生活支援コーディネーター連絡会の実施

各地区や地域ケアプラザ内での進捗状況確認および行動記録票作成・活用の検討等を行いました。(年12回)

(7) 生活支援コーディネーター業務の可視化・活動報告書の作成

① コーディネーターの役割や活動を見える化するため、地域ケアプラザと共に西区共通書式の行動記録様式を作成し、区社協および全地域ケアプラザと協働で取組みました。

② 年間の生活支援コーディネーターの活動を可視化させるため、各行動記録の内容等の分析を学識者に依頼すると共にこれらをまとめた報告書を発行しました。

2 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業

(1) “身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業”への取り組み

近隣の助け合いの層を厚くするため、サービスに結びつきづらい事例や既存の制度等では解決できない相談や課題に対して、関係機関や地域の方々と協力し解決に努めました。

① 困難ケースの把握

<包括支援センター定例カンファレンスでの情報収集>

区内の包括支援センターで定期的開催されるケースカンファレンスでは、介護を含めた様々な生活課題を抱えた個人や世帯に対しての支援方針について検討をしています。平成 28 年度より、区社協職員もこのケースカンファレンスに同席することにより、地域に存在する個別の課題を把握し、地区域・区域の課題として整理を行いました。

包括支援センター	参加回数
戸部本町地域ケアプラザ	5回
藤棚地域ケアプラザ	9回
浅間台地域ケアプラザ	6回
宮崎地域ケアプラザ	5回

<区社協内でのケース検討>

定例カンファレンスで把握した困難ケースについて職員会議等で意見交換を行い、ケースに対する捉え方や支援方法について、年間を通じて随時協議を行いました。地区担当や各事業担当も含めて、地域にある生活課題を把握できたことで、区社協が目指す個別支援から地域支援への取り組みについて協議しました。

3 地区社協支援

(1) 地区社協研修の実施

① 地区社協分科会研修会[区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、つぎの研修を開催しました。

月日	内 容	人数
9月12日(火)	【視察研修】 <視察先> 東京都中野区社会福祉協議会 <内 容> 「まちなかサロン」の取り組みについて	地区社協など 26名

② 地区社協研修(第3回よこはま地域福祉フォーラム) [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会の共催で、第3回よこはま地域福祉フォーラムを開催し、地区社協研修に位置づけて役員の方等に参加を依頼しました。

月日・場所	内 容	人数
12月8日(金) ・県立青少年センター ・横浜市健康福祉総合センター ・横浜市教育会館	全体テーマ 「おたがいさま」の縁づくり ～縁が織りなす支えあい 【全体会】 基調講演 「子どもの貧困～地域の力で できること～」 講師 阿部 彩氏(首都大学東京 都市教養学部教授) 【分科会】 第1:つながる縁で丸ごと支える 第2:多彩な縁で地域をつくる 第3:願いに寄り添い「暮らし」を支える 第4:地域と施設・拡がる縁	全体参加者数 1,130名 うち、 西区参加者数 33名

③ 地区社協てびき研修【新規】 [市社協との共催研修]

「地区社協てびき」を基にした研修を市域および区域でそれぞれ開催しました。

【市域研修】

月日・場所	内容	人数
1月19日(金) 新都市ホール	(1)地区社協のてびきについて解説 (2)講演 講師:静岡福祉大学 教授 西尾敦史氏 (3)地区社協の実践事例紹介 他	全体参加者数 428名 うち、西区参加者数 13名 (地区社協関係者)

【出張研修】

地区社協のてびきを基に、地区社協の役割・意義等についての理解を深めるための研修について、区社協職員が各地区に出向いて実施しました。

	日時	開催場所	参加者人数
第一地区	2月20日(火)	戸部コミュニティハウス	地区社協など 13名
第二地区	2月28日(水)	西前コミュニティハウス	地区社協など 16名
第三地区	2月21日(水)	藤棚地域ケアプラザ	地区社協など 7名
第4地区	2月26日(月)	第4地区会館	地区社協など 11名
第五地区	2月21日(火)	公会堂 会議室	地区社協など 12名
第六地区	2月27日(火)	浅間台自治会館	地区社協など 15名

(2) 地区社協活動の支援

地区担当を設け、各業務担当者等と連携を密にしながら、各地区の会議や地区活動等に参加するなど、地区社協の支援に取り組みました。また、地区社協が財源確保できるよう、地区社協活動運営費・事業費、賛助会費還元金等の地区社協への助成金について見直しを行い、小地域活動応援金を創設するとともに年末たすけあい募金の配分率を引き上げるなど各地区活動の支援を行いました。

① 活動費等助成

項目	内容	財源
【活動費助成】	300 千円 6地区 210 千円 6地区 173 千円 6地区	市社協補助金 共同募金配分金 賛助会費還元金
【事業費助成】	地区社協事業 1,200 千円 6地区 親子ふれあい会事業 144 千円 3地区 高齢者見守り活動交流会 21 千円 2地区	共同募金配分金 共同募金配分金 共同募金配分金
【小地域活動応援金】(新規)	820 千円 6地区	善意銀行配分金
【年末たすけあい募金配分】	1,000千円 6地区	年末たすけあい募金助成配分

(3) 地区社協分科会の定例開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。(詳細はP28～29 参照)

(4) 高齢者見守り活動交流会の開催支援

地域で様々な見守り活動を行っている方たち同士(ふれあい会、友愛会、民生委員、自治会町内会等)で情報交換や交流を通し、地区内の見守り状況の共有や横のつながりを進めました。

第4地区: 6回 第六地区: 1回

(5) 地区社協小地域活動応援金の創設(新規)

地区社協として応援したい地域の小さな活動に対して活動支援ができる善意銀行を財源とする応援金制度を創設しました。

(6) 地区アセスメントシートの更新

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有・活用しました。

4 地域ケアシステムの推進支援

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に出席し、具体的対応についてのケース検討を行いました。

開催ケアプラザ	月日	内容	出席職員数
戸部本町 地域ケアプラザ	5月9日(火)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	7月31日(月)	地域ケア会議(個別レベル)	2名
	2月9日(金)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
浅間台 地域ケアプラザ	6月2日(金)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	8月26日(土)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	9月28日(木)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	10月24日(火)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
宮崎 地域ケアプラザ	2月21日(水)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	7月27日(木)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	11月27日(月)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	10月31日(火)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
藤棚 地域ケアプラザ	12月13日(水)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	9月25日(月)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	10月17日(火)	地域ケア会議(個別レベル)	2名
	1月30日(火)	地域ケア会議(包括レベル)	2名
	3月14日(水)	地域ケア会議(個別レベル)	1名

(2) 地域ケアプラザとの連携

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

① 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

月日・場所	内容
4月27日(木) 西区役所	・ケアプラザ業務連携指針について ・「ケアぷらっと一万歩」の今年度の取り組みについて ・社会福祉士との連携事業について
6月7日(木) 戸部本町地域ケアプラザ	・「にこまちこども応えん団」について ・シニア大学について ・登録団体の情報整理について
9月22日(金) 西区役所	・「にこまちこども応えん団」について ・H30年度ふれあい助成金の変更について ・サブコーディネーター研修について

11月10日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	・「にこまちこども応えん団」について
12月15日(金) 福祉保健活動拠点	・にこまちプラン 事業振り返りについて ・「にこまちこども応えん団」について
1月15日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	・「わくわく地域活動体験」について
2月23日(金) 西区役所	・にこまちプラン 事業振り返りについて ・「にこまちこども応えん団」にこまちフォーラムについて
3月16日(金) 西区役所	・次年度の「にこまちこども応えん団」について
1月29日(月) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	<西区サブコーディネーター研修> 「再発見！地域における地域ケアプラザの役割と対応について」 講師：認定NPO法人市民セクターよこはま 理事長 中野しずよ氏

(3) 地域ケアプラザとの協働

① 地域ケアプラザ連絡会への参加

地域ケアプラザの包括支援センター職員やコーディネーターが一堂に会し、区・区社協からの情報提供や地域ケアプラザ間の情報交換等を行いました。

月日・場所	内容
4月27日(金) 西区役所	・にこまちプラン(第3期地域福祉保健計画)の取組について
9月22日(金) 西区役所	【研修】『5 職種連携による個別支援・地域支援の一体的展開』 講師：西尾 敦史氏(静岡福祉大学 教授)
2月23日(金) 西区役所	・にこまちプラン(第3期福祉保健計画)平成29年度振り返り ・平成30年度の取組について

② 地域ケアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に事務局長が参加しました。(年6回)

(4) 多様な地域活動の支援

① 「西区ふれあい福祉推進事業」の業務受託

西区役所からの業務を受託し、“ふれあい会”の申請・報告(年2回)の受付、確認作業や研修会および事務説明会を行いました。

報告・申請書類の受付 (4月・10月)	平成28年度報告:54団体 平成29年度申請:55団体
研修・情報交換会	日 時:11月7日(火) 場 所:西区役所 3AB会議室 内 容: ・みんなで知ろう! 語ろう! みまもりの工夫 西区地域包括支援センターの社会福祉士より、高齢者虐待について説明。 ・グループでの意見交換 参加者:34団体 54名

事務説明会	日時:2月26日(月) 3月12日(月)
	場所:西区役所 3AB会議室
事務説明会	内容:
	・ 事務説明会
	平成30年度からの制度改正について(区より説明) 報告、申請手続きについて(区社協より説明)
	参加者:52団体 64名

Ⅱ ボランティア活動の推進・支援(重点項目)

1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

① ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。また、本年度は個人ボランティア登録更新調査を実施しました。

	個人(人)			ボランティアグループ	
	男性	女性	計	グループ数	人数
新規登録者(H29)	17	29	46	9	160
前年度新規登録者	23	33	56	10	371
累計 H30年3月末現在	113	141	254	96	2,108

② 単発依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	3	3	0	0	0	11	3	100%	100%
障害	15	11	2	1	1	13	33	93%	78%
高齢	97	81	9	1	6	243	152	98%	97%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	4	1	2	0	1	6	2	100%	93%
その他	7	4	3	0	0	26	9	100%	86%
H29 合計	126	98	16	2	8	299	199	97%	94%
H28 合計	105	99	2	1	3	812	274	94%	91%
比較増減	21	△1	14	1	5	△513	△75		

③ 継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	7	5	2	0	0	3	10	100%	100%
障害	17	9	7	0	1	25	43	100%	38%
高齢	19	14	5	0	0	13	26	100%	50%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	4	1	3	0	0	4	8	100%	93%
その他	0	0	0	0	0	0	0	-	100%
H29 合計	47	26	17	0	1	45	87	100%	94%
H28 合計	16	8	6	0	1	41	29	94%	94%
比較増減	31	18	11	0	0	4	58		

(2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方への情報提供のため、地域ケアプラザや特別養護老人ホーム等にボランティア募集状況等の聞き取りを行いました。

(3) ボランティアに関する情報の提供

ボランティア活動に関する情報をまとめ提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年3回発行、各45, 500部。タウンニュース紙面上に掲載。その他関係機関に送付。
西区ボランティア センターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各600部。登録ボランティアおよびその他関係機関に送付。 ボランティア活動を初めて行う方を対象に、ボランティア活動の基本について冊子にまとめ窓口にて説明・配布しました。
ホームページ	ホームページ内で、ボランティアニード情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など随時最新情報を掲載しました。

2 ボランティア・市民活動への育成・支援

(1) ボランティア活動者の育成

① ボランティア入門ミニ講座の開催

はじめてボランティア活動をする方や、活動を初めて間もない方等を対象に開催しました。(全3回)

月日・場所	内容	人数
10月18日(水) 12月12日(火) 2月20日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	『ボランティア入門ミニ講座』 ・ボランティアと心構えや留意点 ・ボランティア活動保険について(補償内容やながれ) ・車椅子体験、視覚障害者誘導体験	7名

※8月29日は参加者なく未実施

② ボラ体験イベント「横浜駅ゆるーりボランティア」の開催

初めての方でも気軽に参加しやすいボランティア活動として、横浜駅周辺での清掃およびプランターへの水まき活動を実施しました。(4月～12月 毎週火曜日 ※雨天時除く)

③ ハマのオヤジゼミナールの開催

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

1) 講演会「セカンドライフを考える」

月日・場所	内容	人数
12月7日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	講師:青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容:趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や 楽しさについての講演とグループワーク	13名

2) 「DIY講座」(全4回) [NTP高齢へも記載]

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして戸部本町地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内容	人数
1月31日(水) 2月10日(土) 2月21日(水) 3月1日(木) 横浜市戸部本町 地域ケアプラザ	講師: 虎岩 叡司 氏 (DIYアドバイザー神奈川 理事) 第1回: 網戸の張り替え 第2回: 庭木の剪定 第3回: ハウスクリーニング 第4回: 防災対策・講座ふりかえり	延べ28名 (参加者実数7名)

(2) ボランティア活動者の支援

① 『ボランティアの学び舎シリーズ』～聞き上手ボランティア講座～

ボランティア活動者等のスキルアップを目的に実施しました。

月日・場所	内容	人数
2月28日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	講師:・鶴田恵美子氏(日本支援助言士協会) ・NPO 法人「CLIP あこーん」電話相談室 内容:「聞き上手」となるための心構えやコツ、ワークなど	12名

② ボランティア活動保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険についてご案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア活動 行事用保険	福祉サービス総合補償
29年度(件数)	138 (うち天災プラン44)	206	5
28年度(件数)	173 (うち天災プラン64)	156	3
比較増△減	▲35	50	2

③ 社会福祉功労者表彰(新規)

区内で地域福祉活動やボランティア活動に功労のあった方に対し、表彰を行いました。今年度より永年勤続者表彰を新たに創設し、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤および非常勤職員)の表彰を行いました。

月日・場所	内容	参加人数
2月2日(金) 崎陽軒本店 6階会議室	表彰者式典 ・地域福祉活動功労者 30名 ・善意銀行寄付者 3件 ・永年勤続者(常勤) 25名 ・永年勤続者(非常勤) 15名 セレモニー テノール歌手: 華山賢治氏 交流会	86名

(3) ボランティア活動団体および他機関実施事業への協力

① ボランティア関係講座への開催協力、講師としての職員派遣

月日・場所	内容	人数
7月11日(火) 野毛山荘	講座名: 横浜シニア大学 「さまざまなボランティア活動とその心構え」 内容 ・ボランティア活動を行う際の心構えや活動メニュー等の紹介 ・活動しているボランティアからの話 ・ボランティアセンターや地域ケアプラザの役割説明	約25名
3月8日(木) 9日(金) 宮崎地域ケアプラザ	講座名: 宮崎地域ケアプラザ「ボランティア活動」 ～はじめの一步～ 内 容 ・ボランティアの基礎知識 ・車いすの操作方法について	約20名

② ボランティア・市民活動分科会の定例開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供を行うために、定期的に開催しました。(詳細はP29～30 参照)

③ NVC(にこまちボランティアキャンプ)による団体間のつながりづくり

区社協会員であるか否かに拘わらず、ボランティアグループ・市民活動団体など多様な組織・個人同士のつながりについて考え、取り組みました。(詳細はP24 参照)

(4) 個人・企業の社会貢献活動の支援

① フードドライブ活動(食料支援)の推進

まだ食べられるのに、いろいろな理由で処分されてしまう食品を、『たべもの』に困っている人や団体に届ける「フードドライブ」活動を実施しました。

寄附受付期間	寄付件数	配分団体数	主な配分先
第1回: 6月1日～6月15日	17件(244点)	10団体	高齢者食事会、多世代交流サロン、 認知症カフェ、こども食堂、青少年支 援施設、路上生活者支援団体
第2回: 9月1日～9月15日	9件(114点)	8団体	
第3回: 12月1日～12月15日	7件(65点)	9団体	
第4回: 3月1日～3月15日	43件(403点)	15団体	
合計	76件(826点)	42団体	

(5) ボランティアセンター機能の強化

① 職員のスキルアップ

各種研修や勉強会等に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

② ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄附金品の受付・配分等に審議するため、ボランティアセンター運営委員会を3回開催いたしました。(詳細はP31 参照)

3 ボランティア・市民活動への運営支援

(1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、西区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しました。

「よこはまふれあい助成金」を基本とした助成金

助成区分	件数	金額
A区分 (市民参加による地域福祉推進事業)	15件	1,630,000円
B区分 (障害者当事者活動)	6件	330,000円
C区分 (福祉のまちづくり活動)	16件	480,000円
合計	37件	2,440,000円

西区社協会員が申し込み対象となる助成金(共同募金配分、善意銀行配分)

助成区分	件数	金額
D区分 (活動拠点運営助成)	0件	0円
E区分 (備品等整備費助成)	3件	278,169円
F区分 (西区地域福祉推進事業助成)	3件	785,000円
G区分 (活動拠点整備助成)	0件	0円
合計	6件	1,063,169円

平成29年度より新設

新規立上げ事業	4件	160,000円
---------	----	----------

総計	47件	3,663,169円
----	-----	------------

(詳細はP35～36 別表1を参照)

(2) 年末たすけあい募金助成

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	13件	590,000円

(詳細はP37 別表2を参照)

(3) にこまち助成金

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

※A区分:まちづくり、B区分:サービスづくり、C区分:人づくり

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会)

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	14 団体	<申請金額 5 万円以下>: 7 団体	299,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>: 7 団体	1,910,400 円
B区分 (サービスづくり)	5 団体	<申請金額 5 万円以下>: —	—
		<申請金額 5 万円を超える>: 5 団体	891,000 円
C区分 (人づくり)	1 団体	<申請金額 5 万円以下>: 1 団体	50,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>: —	—
合計	20 団体	3,150,400 円	

(詳細はP38 別表3を参照)

4 善意銀行の運営

区民の団体や個人の方からの寄付金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

内容	件数	合計
金銭寄付	22件	574,963円
物品寄付	10件	カレンダー、傘他

(詳細はP38 別表4を参照)

② 配分

内容	件数	合計
金銭配分 (ふれあい助成金E、F区分として)	6件	1,063,169円
物品配分	7件	当事者グループ等へ配分

Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進 (重点項目)

1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

(1) 定例会等の開催協力

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催、養成講座等の実施について、西区役所と連携し、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行うとともに、各防災拠点とのつながりづくりを協力して進めました。

月日	内容	人数
4月15日(土)	定例会 本年度のすすめかたについて、総会について	8名
5月15日(日)	第3地区ふれあい春まつり	4名
5月20日(土)	総会 (1)平成28年度事業報告および決算報告/役員改選 (2)平成30年度事業計画(案)および収支予算(案)	12名
5月26日(金)	西区災害対策連絡協議会	1名

6月24日(土)	本年度のすすめかたについて、地域イベントへの参加について	7名
6月25日(日)	藤棚まつり	4名
7月15日(土)	定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、九州北部豪雨について 他	7名
7月16日(土)	第六地区みんなのまつりへ出店 (チラシ配布、DIG体験、パネル展示など)	4名
7月22日(土)	第五地区納涼まつり～健康と福祉のつどい～へ出店 (チラシ配布、DIG体験、パネル展示など)	6名
7月28日(金)	HUG 研修(ケアマネ連絡会)	35名
8月19日(土)	定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、Aブロック会議について 他	6名
9月16日(土)	定例会 (1)市民防災センター見学会	台風のため中止
10月1日(土)	赤い羽根街頭募金協力	4名
10月21日(土)	定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、Aブロック会議について 他	7名
10月26日(木)	県立横浜平沼高等学校 地域貢献デーへの協力「防災学習」	5名
11月18日(土)	定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、日赤救急法講座について 他	6名
12月16日(土)	・日赤救急法参加/定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、Aブロック会議について 他	18名
1月14日(日)	HUG 研修(老松中地域防災拠点)	約30名
1月20日(土)	・災害ボランティアコーディネーター養成講座/定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、	10名
2月3日(土)	災害ボランティアコーディネーター養成講座	15名
2月13日(火)	Aブロック連絡会 (1)Aブロック地域のDIGに基づく情報共有と意見交換	16名
2月17日(土)	・災害ボランティアコーディネーター養成講座/定例会 (1)コーディネーター養成講座について (2)各種イベント参加について、	12名
3月4日(日)	HUG 研修(西前小地域防災拠点)	約25名
3月11日(日)	災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練/定例会 (1)次年度の取り組みについて	19人

IV 福祉啓発・福祉教育の推進

1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行い協力しました。

月日	依頼者	内容	延べ参加者数
9月11日(月)	神奈川県 人権男女共同参画課	人権啓発イベント(車いす講座)	-
10月26日(木)	神奈川県立横浜平沼高校	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	70名

11月22日(水)	クレディセゾン	ダブルケア	約50名
12月1日(金)	横浜市立岡野中学校	福祉学習(視覚障害・聴覚障害理解)	112名
12月9日(土)	横浜市立平沼小学校 戸部本町地域ケアプラザ	平沼フェスティバル(福祉社会に迫ろう)	60名
2月 6日(火) 20日(火)	コンフォート病院	職員研修講座(聴覚障害理解)	約40名
2月20日(火)	横浜高島屋労働組合	バリアフリー研修(高齢者・妊婦体験)	10名
2月23日(金)	横浜市交通局	人権研修(車いす体験)	11名
3月1日(木) 8日(木)	コンフォート病院	職員研修講座(車いす使用者理解)	約40名

(2) ふくしの学び応援金による福祉学習の促進

各学校における福祉学習を促進するため、講師謝金等の経費を助成する「ふくしの学び応援金」は平成29年度、区内小中学校に対して周知・募集を行い、1件の申請を受け付けました。

申請校	講座名	内容	金額
横浜市立 岡野中学校	福祉学習(障害理解)	①「障害って何だろう(視覚)」 ②「手話講座(聴覚)」	10,000円

(3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際の車椅子等の備品を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を、年間を通して委託しました。

機材名	車椅子	高齢者疑似体験セット	妊婦体験セット	アイマスク	白杖	点字器	(件数)
							ユニバーサルデザイングッズ
29年度	85	10	3	1	0	0	2
28年度	34	13	3	4	3	3	2
比較増△減	51	△3	0	△3	△3	△3	0

(4) 福祉教育推進のための研修の実施

① 先生のための福祉講座(18区社協共催)の開催

教員を対象に、地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的に、横浜市教育委員会、横浜市社協及び18区社協合同で講座を実施しました。

月日・場所	内 容	参加者数
8月18日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	①導入講座「福祉とは、福祉教育とは」 講師:学習院大学文学部教育学科 教授 長沼 豊 氏 ②グループ討議「福祉教育をより効果的に進めていくために」	52名

(5) 各種イベントへの参加

「西区民まつり」「野毛山荘まつり」「社会を明るくする運動」など、区内で開催される各種イベントの機会を捉え、福祉啓発を行いました。

V 総合相談

1 福祉相談事業

日常的な様々な福祉ニーズに対して、相談者や相談内容に応じた情報提供や関係機関につなげるなどのサービス提供に努めました。

2 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

ア) 件数

		高齢者			障害者			その他 不明	合計
		認知症	その他		身体	知的	精神		
平成29年度	36	3	33	6	2	1	3	6	48
平成28年度	23	4	19	4	1	1	2	3	30

イ) 内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・ 財産関係等預かり	今後の生活設計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との関係	財産侵害	日常生活上の問題	隣人知人との関係	福祉サービス利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
平成29年度	43	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	49
平成28年度	22	1	4	1	1	0	0	0	0	0	4	0	33

② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

ア) 契約件数

	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
定期訪問・金銭管理サービス	36	25	20	11	9	8
高齢者	27	16	19	7	8	8
障害者	9	9	1	4	1	0
財産関係書類等預かりサービス	2	3	2	1	3	0
高齢者	2	2	2	0	2	0
障害者	0	1	0	1	1	0

終了理由 29年度 死亡:6、成年後見:3
28年度 死亡:3、他区転居:1、成年後見:2、本人申出:2

イ) 相談等延べ件数

		29年度	28年度	比較増減
契約前対応 (電話・訪問他)	電話	463	116	347
	来所	3	4	△1
	訪問	140	44	96
	手続き援助	6	4	2
	合計	612	168	444
契約者対応 (電話・訪問・各種手続き他)	電話	1,839	1,631	208
	来所	3	9	△6
	訪問	532	509	23
	手続き援助	74	78	△4
	合計	2,448	2,227	221
終了後対応	電話	11	71	△60
	来所	2	5	△3
	訪問	15	16	△1
	手続き援助	3	3	—
	合計	31	95	△64

③ 広報・啓発活動

ア) 横浜シニア大学(再掲)

区シニアクラブ連合会が実施するシニア大学において「あんしんセンター」について説明しました。

月日・会場	内容
7月4日(火) 野毛山荘	「地域で暮らす高齢者の権利擁護」 講師: 西区社会福祉協議会 職員 竹上・土居・大山

イ) 講座の開催

区民や区内の通所介護事業所を対象に西区・西区社会福祉協議会 西区4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、講座を開催しました。

月日・場所	講座名	内容	人数
9月25日(月) 戸部本町地域ケアプラザ	「成年後見が必要なのは、 …こんな時」のお話 (共催事業)	民生委員児童委員やケアマネジャーを対象に、 制度や成年後見人の活動についての紹介や質 疑応答を交え、理解を深めました。 講師: 江崎純子行政書士事務所 江崎純子氏	23名
3月8日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	子育て世代の介護講座 ダブルケアについて (共催事業)	親の介護と子育てのダブルケアに直面している 人の悩みを聞き、必要な支援を考えました。 講師: NPO 法人シャーロックホームズ 東 恵子氏	11名

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

ア) 社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

イ) 成年後見サポートネット全体会への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に2回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

ウ) ケース検討会等の実施・参加

契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

(2) 市民後見人候補者、受任者への支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指し、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

サポートネット分科会

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士とともにサポートネット分科会を開催、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深めました。

月日・会場	内容	市民後見人バンク登録者参加人数
西区福祉保健活動拠点「フクシア」	ケース検討	7名

(3) 障害者後見的支援制度の推進

生涯にわたり本人に寄り添いながら、地域の見守りのなかで暮らしていけるよう支援する「後見的支援制度」を西区で運営する「さぽーと・ねくさす」と地域の情報交換等を行いました。

3 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金：低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯などに対して、資金の貸付と必要な援助を行うことにより、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として実施しました。

総合支援資金：失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の再建のために継続的な相談支援と生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

- ① 貸付件数 緊急小口2件 福祉資金(教育支援資金含む)12件 要保護世帯向け不動産担保1件
合計15件

新規相談 資金項目	紹介相談 件数A	対応回数	貸付実施 件数B	対応回数	合計		貸付実施 率(B/C)
					A+B(C)	対応回数	
総合支援資金	7	11	0	0	7	11	0%
臨時特例資金	0	0	0	0	0	2	-
緊急小口資金	19	80	2	32	21	112	11%
福祉資金 (教育支援資金含む)	29	43	12	475	41	318	29%
不動産担保(要保護含む)	7	56	1	76	8	132	14%
生活福祉資金以外の制度	8	44	-	-	8	44	-
合計	70	234	15	583	81	619	16%

② 相談件数

相談項目 資金項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計	割合
	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等		
総合支援資金	4	67	46	0	1	4	5	49	168	344	14%
臨時特例資金	0	4	6	0	0	0	0	2	42	54	2%
緊急小口資金	1	77	27	15	30	72	2	14	101	339	14%
福祉資金(教育支援資金含む)	40	293	128	105	129	344	11	57	257	1,364	56%
不動産担保(要保護含む)	8	56	12	5	8	51	0	0	1	141	6%
生活福祉資金以外の制度	28	105	69	-	-	-	-	-	-	202	8%
平成 29 年度合計	81	602	288	125	168	471	18	122	569	2,444	100%
平成 28 年度合計	135	609	300	74	100	274	64	179	656	2,391	
比較増△減	△54	△7	△12	51	68	197	△46	△57	△87	53	

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への残高を確認する書類をお渡ししました。

生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを整理、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、懇談会等事業の実施、事務移管等の手続きを行いました。

内 容	件 数
移管事務	他区・他市・他県への移管 0件 他区・他市・他県からの移管受入れ 1件
住所不明調査（あて先不明で返送されてきた借受者等）	7件
滞納世帯への調査	111件

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課からの依頼により、定例支援調整会議へ出席しました。

(西区区役所 3階会議室にて開催)

回数	月日
第 1 回	6月26日(月)
第 2 回	10月24日(水)
第 3 回	2月26日(月)

(4) 食料支援

区や個人から要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、食糧支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
セカンドハーベスト・ジャパン	3件
その他の団体	0件

VI 福祉ニーズのある方への支援

1 子育て支援

(1) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」に対し活動費を助成しました(財源:共同募金配分金)。

地区名	金額
第二地区	48,000 円
第三地区	33,000 円
第六地区	63,000 円
合計	144,000 円

(2) 子どもの居場所づくりに関する勉強会の開催

① 子どもの居場所づくり勉強会「子どもたちの現状と地域ができることを考える勉強会」

月日・場所	内容	参加人数
12月12日(火) 青少年交流・活動スペース	NPO法人いばしょづくり/(株)REO 阿部伸一氏、公益財団法人よこはまユース 宮本康子氏から、子どもたちのおかれている現状を伝えていただきました。支援の必要な子が地域にいるという、理解を促しました。	11名

(3) 西区地域子育て連絡会議の開催

児童福祉関係分科会とは別に、区社協会員以外の方を含めた連絡会議を行っています。西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」と共同事務局として、平成29年度は研修会を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
2月26日(月) 西区福祉保健活動拠点	研修会 お母さんの気持ちを知らう「発達障害をもつわが子の子育て」	37名

2 障害児・者支援

(1) 出合いの場「来て、見て、知って、つながって」の開催

障害福祉関係分科会にて企画し、区内の障がい者本人および関係者(施設職員、家族など)の立場や生活課題を多様な視点で捉え、分科会員同士の理解を深めるため場作り事業を行いました。

月日・場所	内容	参加人数
11月30日(木) CASACO	障害のある方との「違い」ではなく、日常生活や趣味について話をし、「共通点」を通して、障害当事者の「その人自身」の理解をすすめる目的で実施しました。	16名

(2) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内容	担当
担当者会議	全参加施設の担当者の集まり	職員
余暇支援部会	障害児者への余暇支援についての検討	職員
防災会議	災害時対応についての検討・施設見学等	職員

(3) 障害者福祉関係分科会の定例開催

障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を定例的に開催し、共通課題の検討や分科会事業の実施等を積極的に行いました。(詳細はP29 参照)

3 高齢者支援

(1) ハマのオヤジゼミナールの開催 (再掲)

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

① 講演会「セカンドライフを考える」

月日・場所	内容	人数
12月7日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	講師:青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容:趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や 楽しさについての講演とグループワーク	13名

② 「DIY講座」(全4回) [NTP高齢へも記載]

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして、戸部本町地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内容	人数
1月31日(水) 2月10日(土) 2月21日(水) 3月1日(木) 横浜市戸部本町 地域ケアプラザ	講師: 虎岩 叡司 氏 (DIYアドバイザー神奈川 理事) 第1回: 網戸の張り替え 第2回: 庭木の剪定 第3回: ハウスクリーニング 第4回: 防災対策・講座ふりかえり	延べ28名 (参加者実数7名)

(2) ふれあい会等を対象とした研修会の実施 (再掲)

西区より事務委託を受けているふれあい会(高齢者見守り会)支援について、活動を行っている担い手を対象に研修会を実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
11月7日(火) 西区役所 3AB会議室	・みんなで知ろう! 語ろう! みまもりの工夫 西区地域包括支援センターの社会福祉士より、高齢者虐待について説明。 ・グループでの意見交換	34団体 54名

(3) 高齢者福祉関係分科会の定例開催

高齢者関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を定例的に開催し、情報共有等を行いました。(詳細はP29 参照)

(4) 関係機関との連携

認知症サポーターを養成する区内の「認知症キャラバンメイト連絡会交流会」に参加し、情報交換等を行いました。

4 送迎サービス事業

送迎ボランティアの協力により、通常の交通手段では外出が困難な在宅高齢者や障害者の方を対象に送迎用福祉車両による送迎サービスを実施しました。

横浜市の委託事業として介護保険対象者の通院等を目的とした「外出支援サービス」とそれ以外の方を対象とした区社協の送迎サービスの2本立てで実施しています。

※道路運送法第79条6及び同法施行規則第51条の10の規程に基づいた登録団体として実施

【登録番号】関神福第126号

(1) 利用状況および登録者

利用内容	総数	(件数)	
		外出支援	区社協送迎
29 医療(通院等)	269	251	18
28 医療(通院等)	298	284	14
比較増△減	△29	△33	4
29 福祉サービス利用	0	0	0
28 福祉サービス利用	0	0	0
比較増△減	0	0	0
29 その他	0	0	0
28 その他	0	0	0
比較増△減	0	0	0
29 合計	269	251	18
28 合計	298	284	14
比較増△減	△29	△33	4

新規利用登録	総数	外出支援	区社協送迎
平成 29 年度	7	6	1
平成 28 年度	10	10	0
比較増△減	△3	△4	1

(2) 送迎ボランティア育成・支援

① 送迎ボランティア登録者数

年度	人数
平成 29 年度	10
平成 28 年度	10
比較増△減	0

② 送迎ボランティアミーティング

送迎サービスの運転ボランティアを対象に情報提供・情報交換のためのミーティングを実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
6月21日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○送迎サービス事故発生状況についての報告 ○交通安全についてDVD鑑賞 ○安全運転チェックテスト ○情報交換 他	10名

③ 研修

西区社会福祉協議会で「6 区(西、南、中、港南、磯子、金沢)合同安全運転講習会」を開催し、ボランティアの方が参加しました。

月日・場所	内 容	参加人数
1月26日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○市内送迎サービスにおける事故傾向と事故発生時の流れについて ○情報交換 他	5名 (全区 27 名)

5 交通遺児等への支援

(1) 交通遺児援護金の交付

区内の20歳未満の交通遺児を抱える世帯に対し、事故見舞金や入学・卒業の激励金を交付する事業ですが、平成29年度は0件でした。

(2) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協が給付しました。

	給付件数	内 容	金 額
H29	43件	旅費43件、食費0件、その他0件	11,780円
H28	44件	旅費44件、食費0件、その他0件	14,700円

(3) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金 額
4月5日(水)	火災 1件	15,000円
8月23日(水)	火災 1件	10,000円
1月26日(金)	火災 2件	30,000円
H29年度 合計	火災 4件	55,000円
H28年度 合計	火災 5件	60,000円

Ⅶ 福祉情報発信機能の充実

1 広報紙の発行・ホームページの活用

(1) 広報紙の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的として年3回発行しました。今年度より区社協広報を目にしない世代のPRを目的として、タウンニュース紙面に掲載をし発行しました。

① 広報紙「もくせい」の発行

発行月	内 容	発行部数
7月 (第71号)	○シリーズ「こどもの居場所」みんなの食堂 ○その他:フードライブ報告、平成28年度事業報告・決算報告、賛助会員・善意銀行のお礼、拠点利用案内 他	33,000部
10月 (第71号)	○シリーズ「こどもの居場所」にここ広場 ○ボランティア講座紹介(ガイドボランティア講座、ハマのオヤジゼミナール 災害ボランティアコーディネーター養成講座等) ○その他:赤い羽根共同募金、賛助会員・善意銀行のお礼 他	33,000部
3月 (第72号)	○シリーズ「こどもの居場所」フリーサロン5 ○その他:移動情報センター紹介、フードライブ活動、にこまち助成金案内、ふれあい助成金説明会、賛助会員・善意銀行のお礼 他	33,000部

(2) ホームページの活用

ホームページを平成28年4月にホームページリニューアルし、区社協PRやボランティア講座等の周知に活用すると共に、随時更新しました。また併せてフェイスブックページの作成を行い、随時更新を行いました。

西区社協ホームページ(http://www.yoko-nishishakyo.jp/)	
西区社協フェイスブック(https://www.facebook.com/yokonishisya#)	
H29年度更新回数	49回
H28年度更新回数	26回

VIII 西区地域福祉保健計画の推進

1 第3期西区福祉保健計画の推進とNTPによる事業展開

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」を一体的に策定しております。

本年度は「第3期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン)の2年目となり、区役所・地域ケアプラザとともに地区支援チームの一員として計画を推進・支援しました。

(1) にこまち助成金の配分 (再掲)

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会)

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	14 団体	<申請金額 5 万円以下>:	7 団体 299,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>:	7 団体 1,910,400 円
B区分 (サピスづくり)	5 団体	<申請金額 5 万円以下>:	— —
		<申請金額 5 万円を超える>:	5 団体 891,000 円
C区分 (人づくり)	1 団体	<申請金額 5 万円以下>:	1 団体 50,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>:	— —
合 計	20 団体	3,150,400 円	

(詳細はP38 別表3を参照)

(2) NTP(にこまちトライプロジェクト)による事業展開

4つテーマ別に(高齢、障害、子ども、ボランティア)、区全体の課題解決に向けて、「NTP(にこまちトライプロジェクト)」と称して具体的な取り組みを行いました。

① 高齢分野

1) ハマのオヤジゼミナールの開催(再掲)

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

ア) 講演会「セカンドライフを考える」

月日・場所	内容	人数
12月7日(木) 西区福祉保健活動拠点「フクシア」	講師:青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容:趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や楽しさについての講演とグループワーク	13名

イ) 「DIY講座」(全4回)

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして、戸部本町地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内容	人数
1月31日(水) 2月10日(土) 2月21日(水) 3月1日(木) 横浜市戸部本町 地域ケアプラザ	講師: 虎岩 叡司 氏 (DIYアドバイザー神奈川 理事) 第1回: 網戸の張り替え 第2回: 庭木の剪定 第3回: ハウスクリーニング 第4回: 防災対策・講座ふりかえり	延べ28名 (参加者実数7名)

② 障害分野

1) 出会いの場「来て、見て、知って、つながって」の開催

障害福祉関係分科会にて企画し、区内の障がい者本人および関係者(施設職員、家族など)の立場や生活課題を多様な視点で捉え、分科会員同士の理解を深めるため場作り事業を行いました。

月日・場所	内容	参加人数
11月30日(木) CASACO	障害のある方との「違い」ではなく、日常生活や趣味について話をし、「共通点」を通して、障害当事者の「その人自身」の理解をすすめる目的で実施しました。	16名

③ 子ども分野

1) 勉強会準備会等の実施

子どもに関する施設職員、地域の活動者、区、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、勉強会の企画を行いました。

月日			検討メンバー
第1回 5月 1日(月)	第2回 7月 4日(火)	第3回 9月 8日(金)	10名
第4回 10月24日(火)	第5回 11月28日(火)	第6回 2月 6日(火)	

2) 子どもの居場所づくり勉強会「子どもたちの現状と地域ができることを考える勉強会」

月日	参加者	内容
12月12日(火)	11名	NPO法人いばしょづくり／(株)REO 阿部伸一氏、公益財団法人よこはまユース 宮本康子氏から、子どもたちのおかれている現状を伝えていただきました。支援の必要な子が地域にいるという、理解を促しました。

④ ボランティア分野

1) にこまちボランティアキャンプ(NVC)

西区内で活躍するボランティア団体・施設の活動をお互いによりよく知り合い、つながり・取り組みについて考える意見交換会を実施しました。

月日	検討メンバー
第1回:4月26日(水) 第2回:5月30日(火) 第3回:6月27日(火) 第4回:8月29日(火) 第5回:3月 7日(水)	12名

(3) にこまちフォーラムの開催

「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の第3期計画にむけての基調講演と発表会を西区役所・地域ケアプラザと共催で開催しました。

月日・会場	内 容	参加人数
2月24日(土) 西公会堂	テーマ: ひろげて深める、地域のつながり ～はじめよう、今日からわたしにできること～ 内容: 基調講演 講師: 西尾 敦史氏(静岡福祉大学社会福祉部教授) 各地区による活動報告 ほか、 <ロビー展示>各地区活動紹介等のパネル展示、障害者福祉施設等の物品販売など	253名

2 地区支援チームへの参画

各地区が地区別計画を推進するにあたり、区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チーム打合せや地区別懇談会への参加等を行いました。

① 第一地区

月 日 ・ 内 容
<p>■地区懇談会: 第1回 11月13日(月) 主な内容: 今後の第一地区の高齢支援に向けて意見交換</p> <p>■その他の会議等 高齢部会 第1回 5月22日(火) 第2回 7月24日(月) 第3回 9月 25日(月) 担い手部会 第1回 4月11日(火) 第2回 6月13日(火) 第3回12月9日(土) 部会長会議 第1回 3月9日(金)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回 11月1日(月) 第2回 3月13日(火)</p>

② 第二地区

月 日 ・ 内 容
<p>■地区懇談会 第1回 11月9日(木) 第2回 2月13日(火) 主な内容: 拠点訓練の報告、これまでのふり返りと次年度に向けてなど</p> <p>■その他の会議等 福祉バス・身障者旅行 10月19日(木) 敬老ふれあい茶話会 10月23日(月) 藤棚らいぶステーションボランティア懇親会 3月29日(木)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回 2月8日(木)</p>

③第三地区

月 日 ・ 内 容
<p>■地区懇談会 第1回:6月14日(水) 第2回:11月16日(木) 第3回:2月5日(月) 主な内容: ふれあい春まつり、広報紙について、福祉フェスタについて、 地区別計画についてなど</p> <p>■その他の会議等 地区別計画書会議: 第1部会(9回) 第2部会(10回) 第3部会(10回) ふれあい春まつり(5/21開催)関係会議: 4月6日(木)・3月8日(木) 福祉フェスタ(10/7開催)関係会議: 9月25日(月)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回:11月6日(月) 第2回:3月6日(火)</p>

④第4地区

月 日 ・ 内 容
<p>■理事会 第1回:7月3日(月) 第2回:11月14日(火)</p> <p>■その他の会議等 ふれあい会・友愛会・食事会交流会 第1回:6月5日(火) 第2回:11月6日(月) 第3回:12月11日(月)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回:3月7日(水)</p>

⑤第五地区

月 日 ・ 内 容
<p>■地区懇談会 第1回 5月26日(金) 第2回 8月25日(金) 第3回 11月1日(水) 第4回 2月2日(金) 主な内容: 第3期地区別計画進捗状況、団体活動紹介、にこまちフォーラムについてなど</p> <p>■その他の会議等 納涼まつり打合せ 8月8日(火)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回 5月12日(金) 第2回 6月23日(金) 第3回 9月22日(金) 第4回 12月22日(金) 第5回 3月16日(金)</p>

⑥第六地区

月 日 ・ 内 容
■地区懇談会 第1回 10月11日(水)
■その他の会議等 第六地区地域のつどい: 7月3日(金) *テーマ:「災害」 第3回地域の絆研修・交流会: 3月10日(土)
■支援チーム打ち合わせ 第1回 7月19日(水) 第2回 3月13日(火)

IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営（重点項目）

1 拠点の管理・運営

改めて平成29年度より第3期の指定管理者となり、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に活用いただけるよう運営を行いました。

(1) 登録状況

① 利用登録団体 244団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他(地域団体、福祉保健の職域団体)
110団体	43団体	91団体

② メールボックス使用団体 24団体 (24個中)

③ ロッカー使用団体 38団体 (40個中)

(2) 利用状況

部屋名	利用件数・利用率				比較増減
	平成29年度		平成28年度		
団体交流室	1,104件	66.7%	1,140件	68.8%	△36
多目的研修室	830件	74.9%	837件	75.0%	△7
点字制作室	531件	47.9%	449件	41.7%	82
録音室	225件	21.8%	141件	13.7%	84
対面朗読室・編集室	760件	66.2%	715件	60.5%	45
全 体	3,450件	55.5%	3,282件	51.9%	168

(3) 利用調整会議

利用登録団体間の交流や利用に当たっての注意事項の伝達を目的として実施しました。参加団体は小グループに分かれて、活動紹介などの活発な情報交換を行いました。

月日・場所	内 容	参加数
2月6日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○事務局からの注意事項伝達 ○グループごとに情報交換 ○ロッカー・メールボックスの抽選	34団体 33名

(4) 意見箱の設置

団体交流室に市社協の独自システムである「ご意見箱」を設置しました。平成 29 年度は 0 件でした。

X 法人運営

1 改正社会福祉法への対応（重点項目）

① 社会福祉施設等連絡会議の開催(新規)

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人に義務化された「地域貢献活動」に対して、区内の様々な法人・施設と連携を図り、地域の福祉ニーズに対応した活動を行うため社会福祉施設等連絡会議を開催しました。

8月 2日(水) 西区福祉保健活動拠点「フクシア」 8名

3月26日(水) 西区福祉保健活動拠点「フクシア」 8名

② 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。

③ 助成金の検討

企画委員会を中心により良い助成金のあり方について検討を進めました。

④ 社会福祉充実計画

平成28年度決算において発生した充実残高に伴い社会福祉充実計画を策定し、区内社会福祉関係者の永年活動(勤続)功労表彰等を実施しました。

2 会員、部会・分科会・委員会

(1) 会員

① 正会員

社会福祉事業を行う施設	31
民生委員児童委員	117
地区社会福祉協議会	6
地区連合町内会・自治会	6
障害者団体等当事者団体	13
ボランティア・市民活動団体	18
社会福祉関係団体	16
行政機関	4
学識経験者	1
正会員合計	212
正会員会費合計	722,000円

② 賛助会員

法人	83
個人	100
賛助会員合計	183
賛助会費合計	法人・個人(824,300) +連合(483,400) =1,307,700円
会費合計	2,029,700円

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 分科会

【自治会・町内会分科会】

月日	議 題	結 果	人 数
9月19日(火)	○西区社協評議員候補者及び各種委員の選任 ○自治会町内会賛助会費の取扱いについて 他	全て承認 された	12名
10月18日(火)	○共同募金 日赤社資募金手数料配分及び区社協会費 ○各自治会町内会の区社協正会員の加入について		12名
2月19日(月)	○会費に関わる事務取扱いについて 他		12名

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。

月日	主な議題	結 果	人 数
4月26日(水)	○平成29年度地区社協分科会について ○地区社協助成金、区社協事業計画について 他	全て承認 された	21名
6月22日(木)	○地区社協助成金について ○地区社協研修会について 他		21名
7月27日(木)	○地区社協研修会について ○各地区社協の経費比較について 他		19名
9月28日(木)	○小地域活動応援金について ○視察研修振り 返り 他		23名
10月26日(木)	○よこはまふれあい助成金について ○地区社協検討会について 他		23名
11月30日(木)	○各種助成金について ○社協カレンダーの発行について 他		22名
12月8日(木)	(地域福祉フォーラムへ地区社協分科会として出席)		20名
1月25日(木)	○社協カレンダーの活用について ○地区社協てびき研修・地区社協データ集について 他		22名
2月22日(木)	○小地域活動応援金の活用について ○次年度分科会の進め方・地区社協研修について 他		22名
3月22日(木)	○地区社協助成金について 他 * 分科会後半では、「経理等事務研修」を実施しました		23名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

月日	議 題	結 果	人 数
7月12日(水)	○分科会会長及び副分科会会長の選任について ○昨年度の振り返りについて・各団体の活動紹介	全て承認 された	16名
9月27日(水)	○西区社協の取り組みについて ○分科会の取り組みについて 他		18名
12月5日(火)	○分科会の取り組みについて ○高齢者支援(認知症関連事業)について意見交換		15名
3月13日(火)	○情報交換 意見交換 ○次年度の取り組みについて		15名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

月日	議 題	結 果	人 数
8月24日(木)	○分科会会長・副分科会会長の選出について ○本年度障害福祉関係分科会の活動について	全 体 承 認された	18名 (16団体)

10月31日(火)	○出会いの場づくり事業・まちあるき事業について ○当事者発地域啓発支援事業について 他		12名 (11団体)
11月30日(木)	○出会いの場づくり事業 @カサコ		15名 (12団体)
3月15日(火)	○移動情報センター事業について ○今年度の振り返り・次年度分科会について 他		11名 (10団体)

※場所は11月30日以外すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。
(11月30日は地域の居場所の見学を兼ねて、CASACOにて交流会を行いました)

【ボランティア・市民活動分科会】

月日	議 題	結果	人数
5月22日(月)	○本年度分科会長、副分科会長の選出 ○年間計画について	全 て 承 認された	15名
6月26日(月)	○活動紹介、広報紙の発行について ○分科会 研修会の検討について		15名
7月24日(月)	○活動紹介、情報交換 ○分科会 研修会について		11名
8月28日(月)	○活動紹介、区社協H28 事業報告/H29 事業計画について ○移動情報センターについて		16名
9月25日(月)	○活動紹介、共同募金協力依頼について ○H30年度ふれあい助成金の見直しについて		17名
10月23日(月)	○にこまちステップアップ講座		23名
11月27日(月)	○活動紹介、広報紙の発行について ○にこまちステップアップ講座の報告		18名
1月22日(月)	○みんなのまつり 参加について ○広報紙発行について、情報交換		10名
2月26日(月)	○活動紹介、広報紙の発行について ○次年度の分科会開催について		16名
3月26日(月)	○H30 区社協事業計画/予算について ○次年度分科会について、情報交換		16名

月日	内容	人数
11月5日(日) 戸部公園	区民まつりへの参加	-
3月10日(土) 一本松小学校	4地区社協「みんなのまつり」への出店	-

【本会会員社会福祉施設等連絡会議】

月日	議 題	結果	人数
8月2日(水)	○区社協社会福祉充実計画について ○社会福祉施設等向け助成金について ○区社協事業計画 報告について	全 て 承 認された	8施設

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月 日	議 題	結 果	人 数
12月12日(火)	○委員長・副委員長の選出について ○平成29年度の表彰基準の変更点について ○第36回西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	全て承認された	6名

【助成金等審査委員会】

月 日	議 題	結 果	人 数
6月9日(金)	○平成29年度西区社協ふれあい助成金の配分審査について	全て承認された	7名
11月29日(水)	○西区ふれあい助成金2次募集の審査について ○年末たすけあい募金助成の配分審査について ○ふれあい助成金制度の変更について(平成30年度から)		7名

【にこまち助成金審査委員会】

月 日	議 題	結 果	人 数
6月29日(木)	○平成28年度にこまち助成金 助成結果について ○平成29年度にこまち助成金 第1回受付分の審査について	全て承認された	7名
10月5日(木)	○平成29年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ○次期にこまち助成金の申請受付期間等について ○にこまち助成金の課題把握について		7名
3月22日(木)	○平成30年度にこまち助成金 第1回受付分の審査について ○平成22年度～平成29年度にこまち助成金助成金一覧 ○にこまち助成金の課題の共有について		7名

【ボランティアセンター運営委員会】

月 日	議 題	結 果	人 数
10月19日(木)	○平成29年度上半期ボランティアセンター運営状況について ○平成29年度ボランティアセンター事業予定について ○移動情報センター受託について 他	全て承認された	8名
1月26日(金)	○平成29年度ボランティアセンター運営状況について ○善意銀行の取扱いについて ○移動情報センターについて 他		8名
2月26日(月)	○平成30年度ボランティアセンター事業計画(案)について ○平成29年度ボランティアセンター運営委員会について		7名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

(2) 理事会・評議員会・監事会

① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人数
第1回 5月30日(火)	1. 新規会員の入会について 2. 平成28年度事業報告及び収入支出決算報告について 平成28年度福祉保健活動拠点事業報告及び収入支出決算報告について 3. 監事監査報告について 4. 平成29年度第1回補正予算について 5. 監事候補者の評議員会への推薦について 6. 本会規程の改正並びに新規規程の制定について 7. 評議委員会の招集並びに議題について	理事10名 監事 2名
第2回 6月16日(金)	1. 正副会長の選任について 2. 顧問の選任依頼について 3. 会員の入会について	理事 9名 監事 3名
第3回 7月21日(金)	1. 会員の入会について 2. 本会社会福祉充実計画について 3. 移動情報センターの受託について 4. 平成29年度第2回補正予算について 5. 経理規程の一部改正について 6. 本会所有の福祉基金の取り扱いについて 7. 第2回評議委員会の招集並びに議題について	理事 6名 監事 3名
第4回 11月20日(火)	1. 企画委員会からの答申について 2. 基金の運用について 3. 年末たすけあい募金配分について 4. 評議員選任候補者の推薦について	理事 7名 監事 3名
第5回 3月6日(火)	1. 会員規程の改正について 2. 会員の加入について 3. 福祉基金の取り扱いについて 4. 経理規程の改正について 5. 企画委員会答申並びに新規助成金について 6. 平成29年度第3回補正予算について 7. 評議委員会の招集並びに議題について 8. 平成30年度事業計画案並びに予算案について 平成30年度西区福祉保健活動拠点事業計画案並びに予算案について	理事 9名 監事 2名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人数
第1回 6月16日(金)	1. 平成28年度事業報告及び収入支出決算報告について 平成28年度福祉保健活動拠点事業報告及び決算報告について 2. 監事監査報告について 3. 平成29年度第1回補正予算について 4. 理事・監事の選任について 5. 役員・評議員等の費用弁償に関する規程の一部改正について	評議員18名 監事 1名
第2回 8月10日(木)	1. 本会社会福祉充実計画について 2. 移動情報センターの受託について 3. 平成29年度第2回補正予算について 4. 経理規程の一部改正について	評議員15名 監事 2名

第3回 3月23日(金)	1. 会員規程の改正について 2. 経理規程の改正について 3. 平成29年度第3回補正予算について 4. 平成30年度事業計画案並びに予算案について 平成30年度西区福祉保健活動拠点事業計画案並びに予算案について	評議員20名 監事 2名
-----------------	---	-----------------

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

③ 監事会

月 日	内容	人数
5月26日(金)	平成28年度横浜市西区社会福祉協議会事業実施状況並びに決算について	監事 3名

(3) 適切な法人運営

① 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」および区社協の「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

② 情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開を行いました。

H29 情報公開請求 0 件

③ 苦情受付

受付件数	0件	対応件数	0件
------	----	------	----

(4) 事務局運営

① 職員の資質向上

法人内研修の他、外部機関が実施する研修等に事務局職員を参加させ、資質の向上に努めました。

② 事務局会議・窓口職員会議の開催

担当業務進行管理や業務執行上の課題等を職員全体で共有・検討し、区社協機能の向上につなげていくため、常勤職員を対象とした事務局会議を毎月2回、非常勤職員を含めたに窓口職員を対象とした会議を毎月1回実施しました。

(5) 社会福祉功労者表彰（再掲）

区内で地域福祉活動やボランティア活動に功労のあった方に対し、表彰を行いました。今年度より永年勤続者表彰を新たに創設し、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤および非常勤職員)の表彰を行いました。

月日・場所	内容	参加人数
2月2日(金) 崎陽軒本店 6階会議室	表彰者式典 ・地域福祉活動功労者 30名 ・善意銀行寄付者 3件 ・永年勤続者(常勤) 25名 ・永年勤続者(非常勤) 15名 セレモニー テノール歌手: 華山賢治氏 交流会	86名

X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携およびサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	